

2019年 院内がん登録実績

【登録の対象】

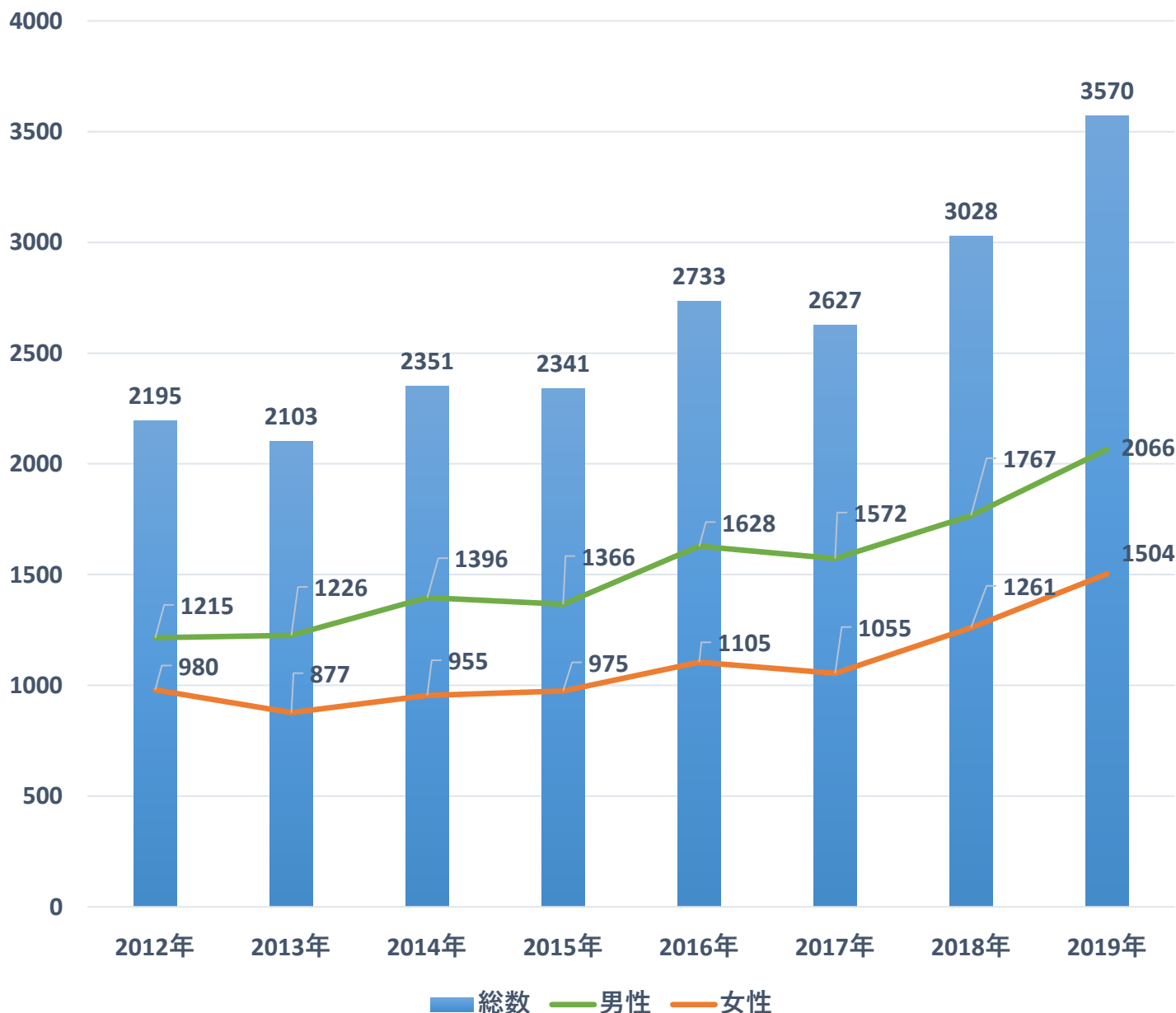
2019年1月1日から2019年12月31日の間に、「がん」で当院を受診し、診断または治療の対象となった腫瘍

【登録対象となる腫瘍】

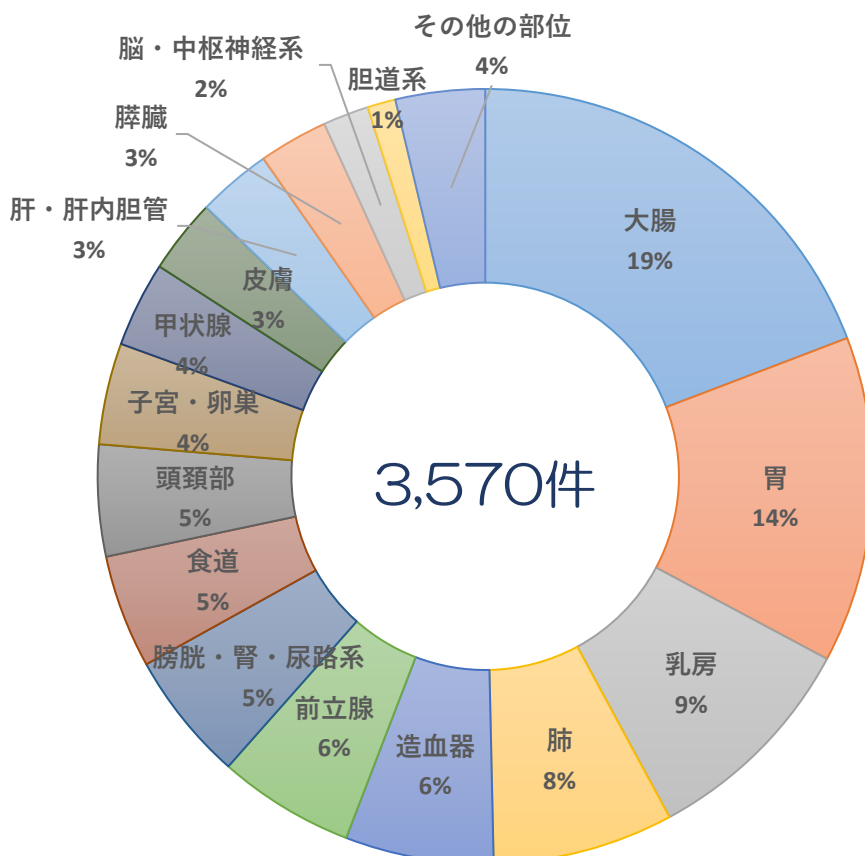
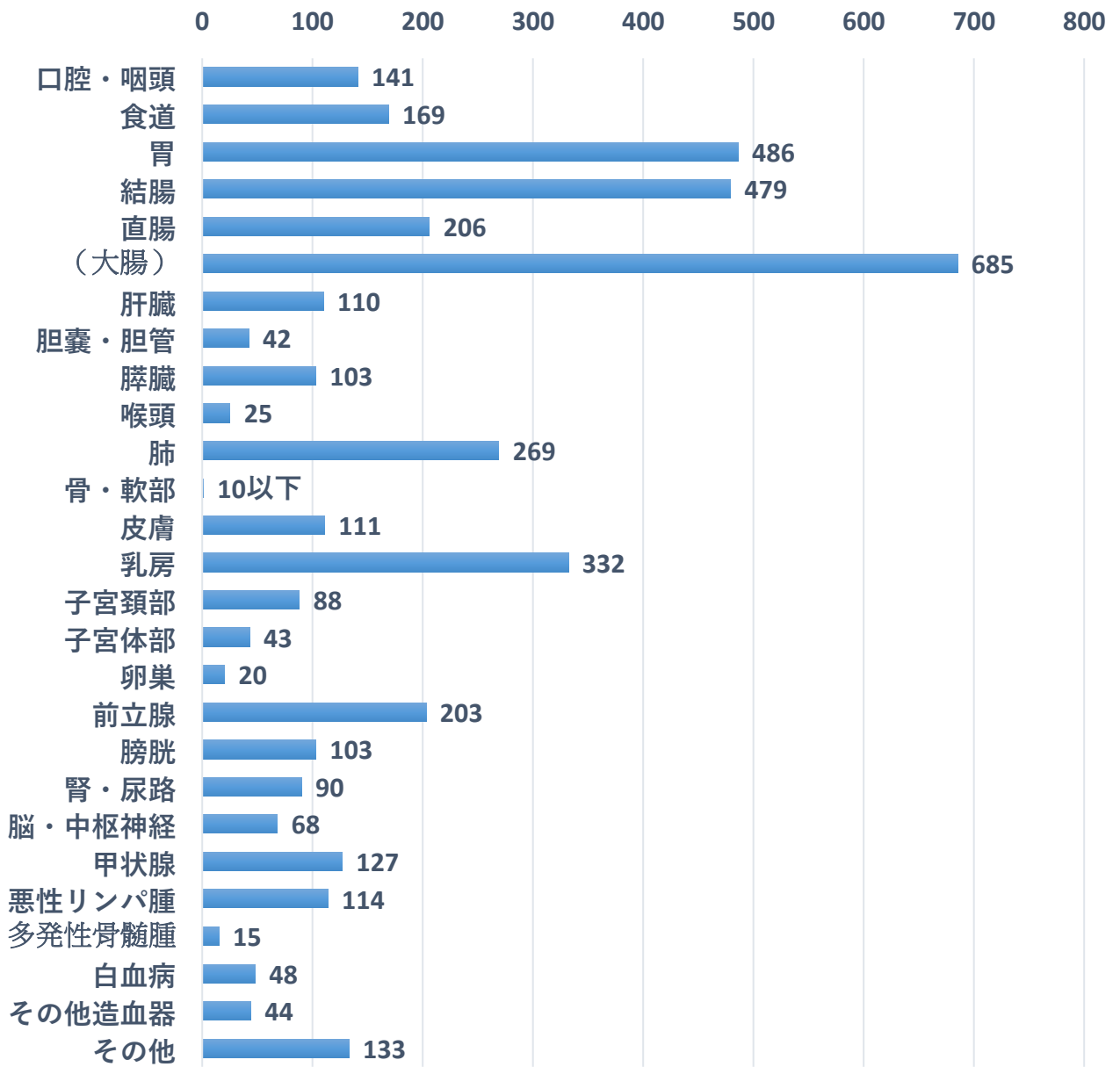
『国際疾病分類 腫瘍学第3版（一部改正2012）ICD O 3.1』において

- ①形態コードの性状コードが2（上皮内癌）、3（悪性腫瘍・原発）のもの
- ②中枢神経系腫瘍の性状コードが0（良性）、1（性状不詳）のもの
- ③消化管間質腫瘍（GIST）の性状コード0（良性）、1（性状不詳）のもの
- ④境界悪性の卵巣腫瘍（性状コード1）の一部

1. 院内がん登録数経年推移：2012年～2019年

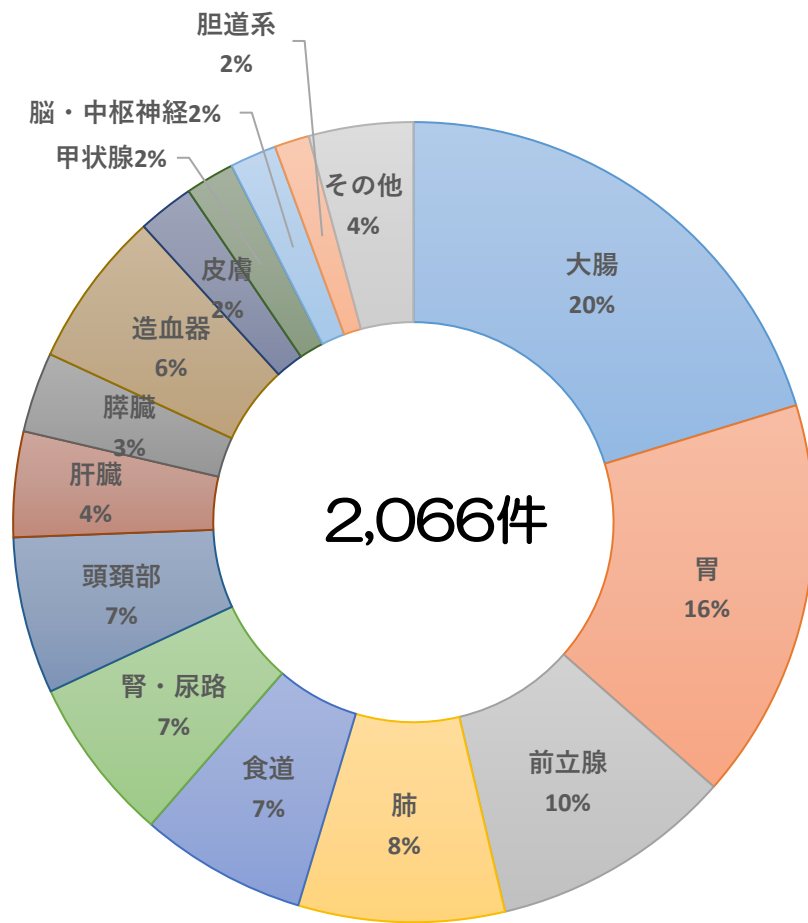


2. 部位別登録数と割合

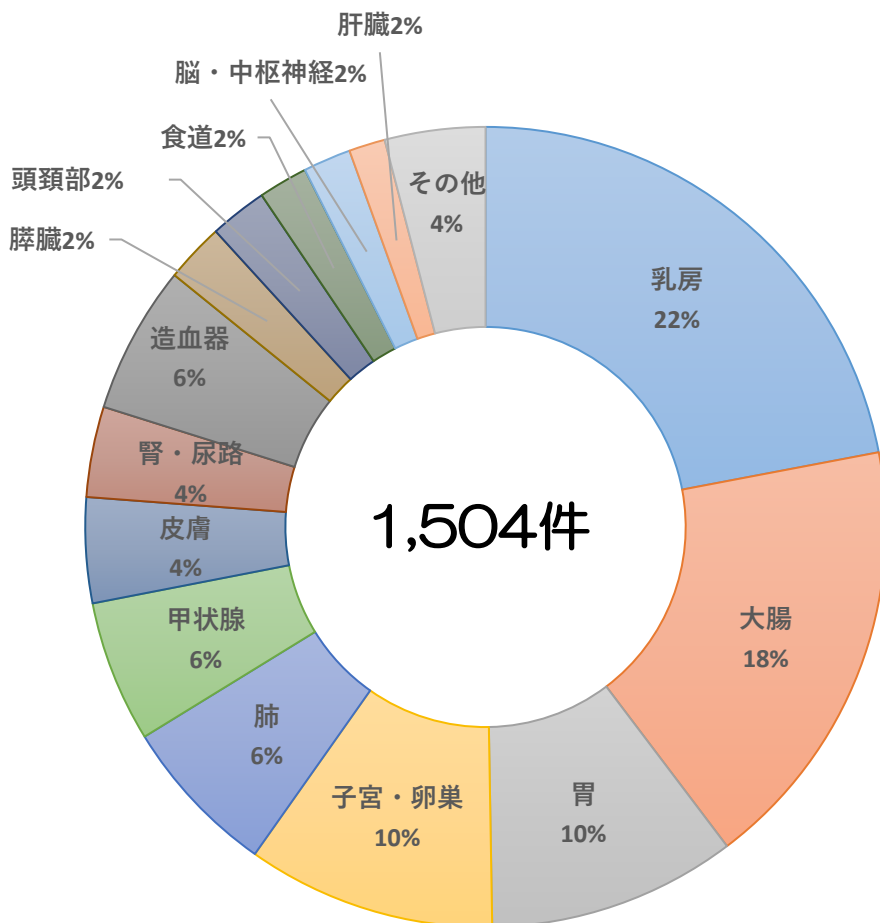


3. 性別登録数と割合

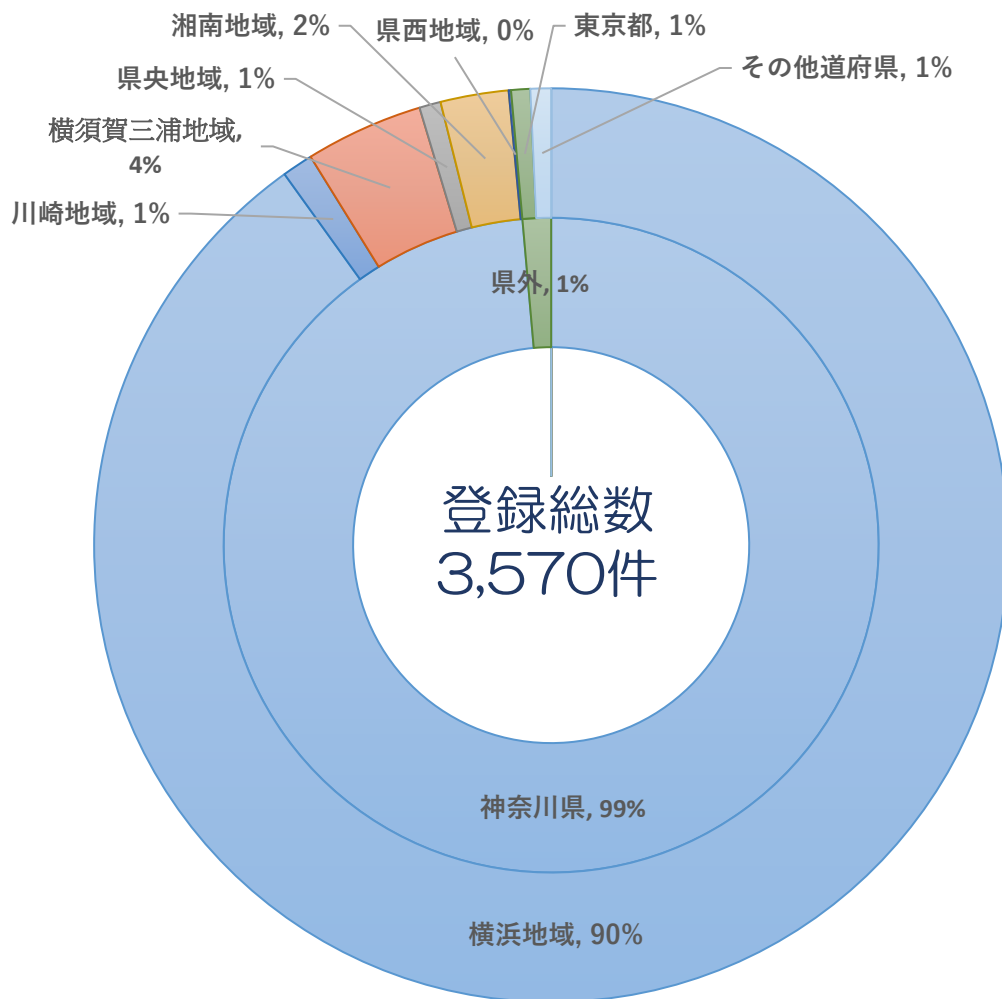
男性



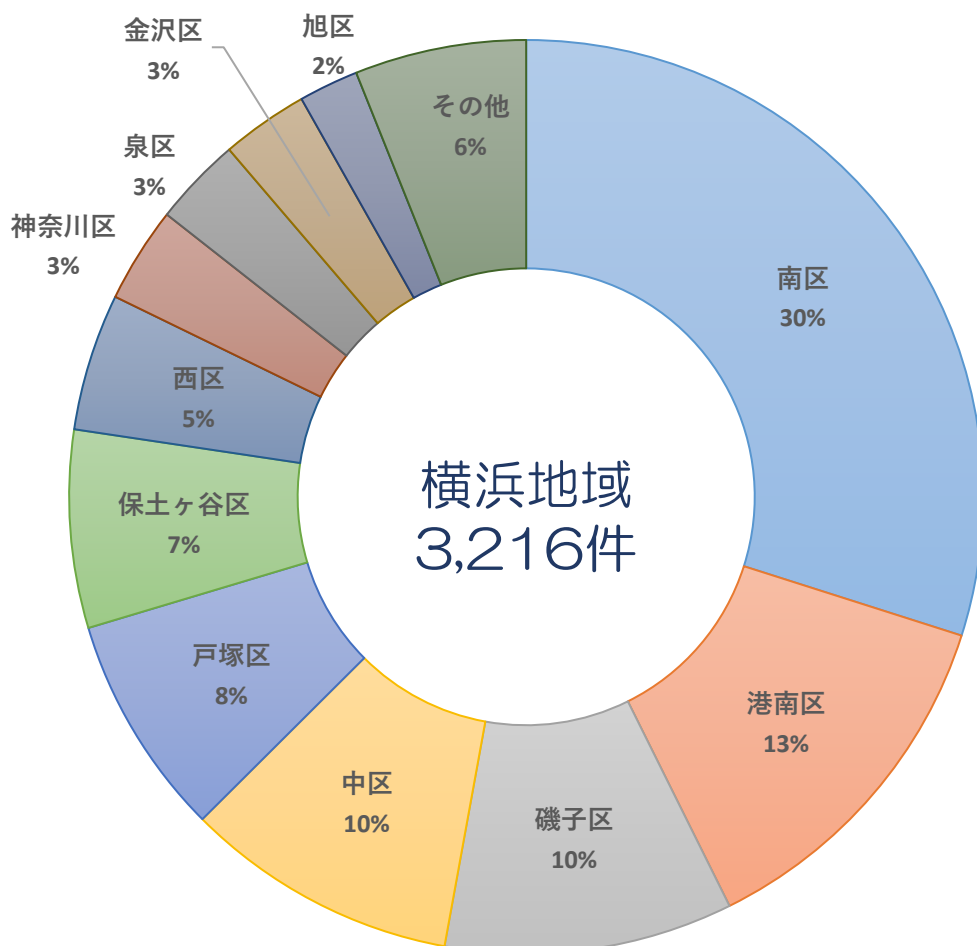
女性



4. 地域別登録数

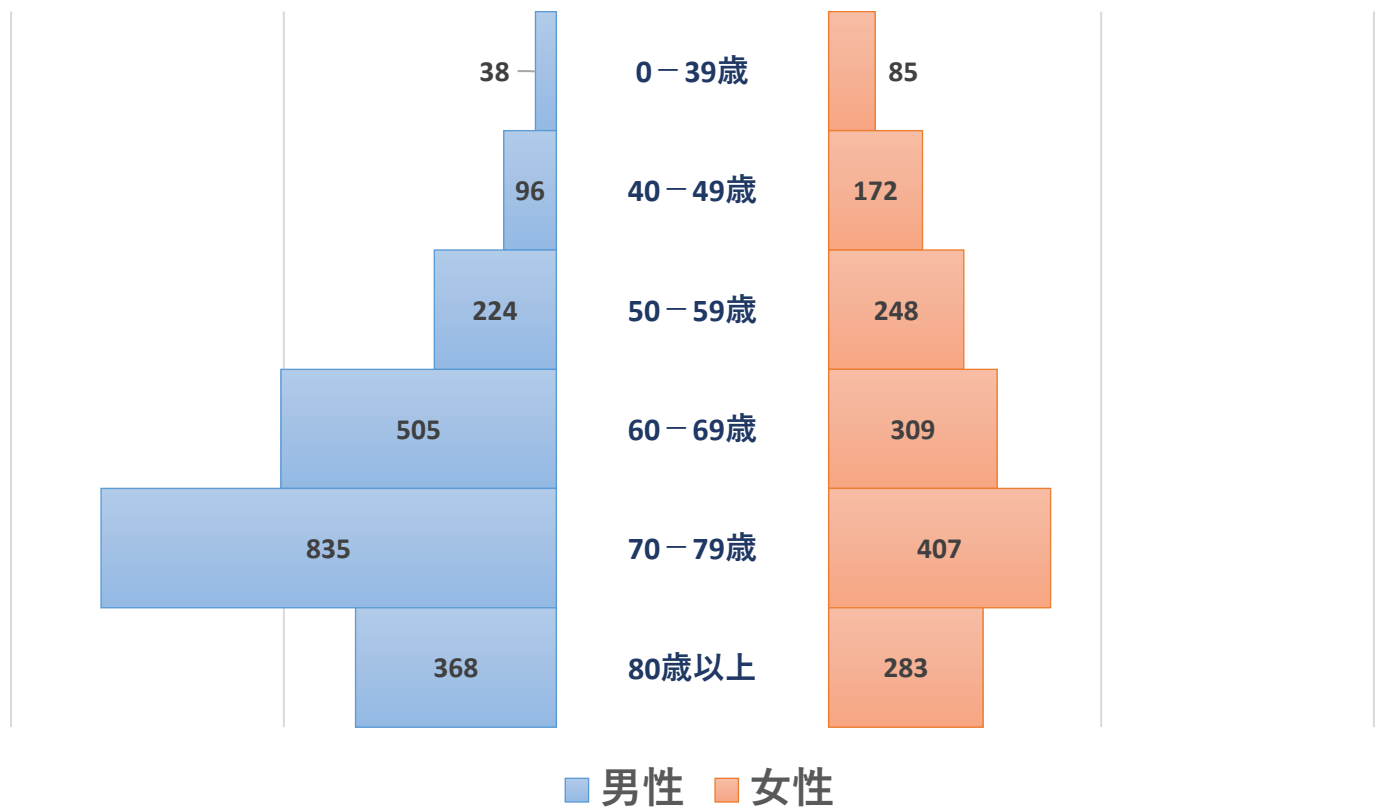


横浜地域 内訳



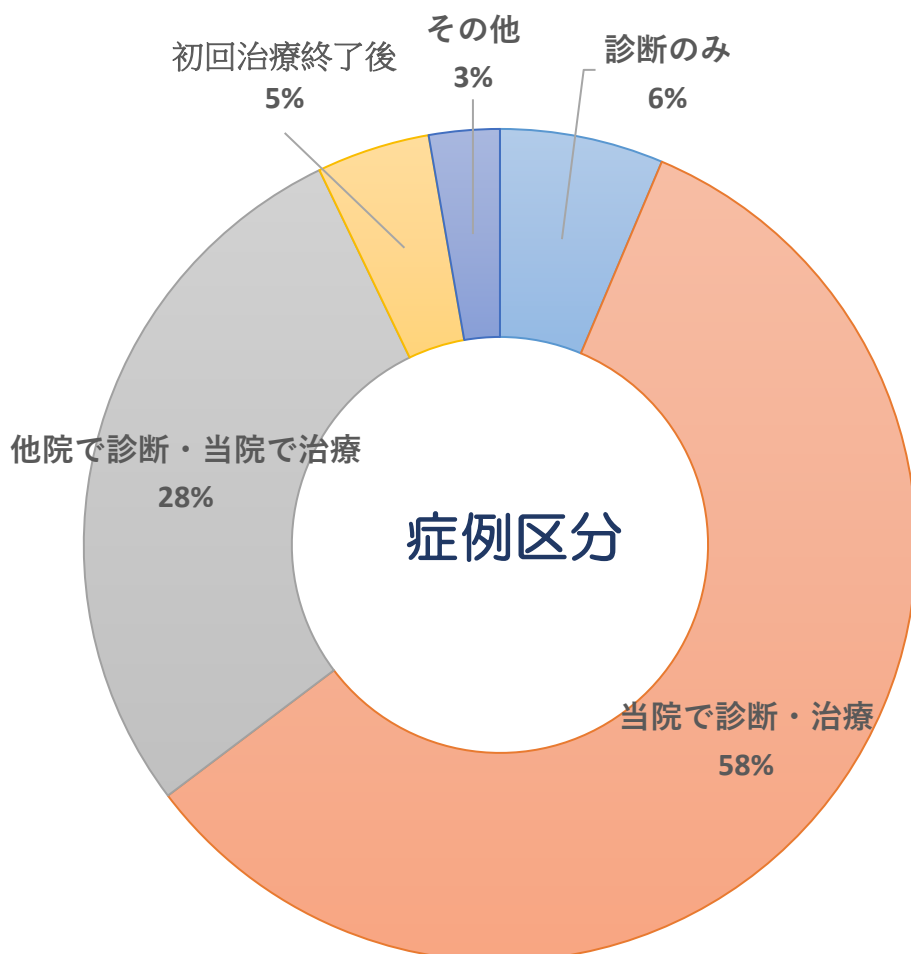
5. 診断時年齢

平均年齢 68歳



6. 症例区分

(その腫瘍の診断・初回治療の過程にどのように関与したか)



7. 主ながんのステージと治療法の割合 (当院で治療を開始した例)

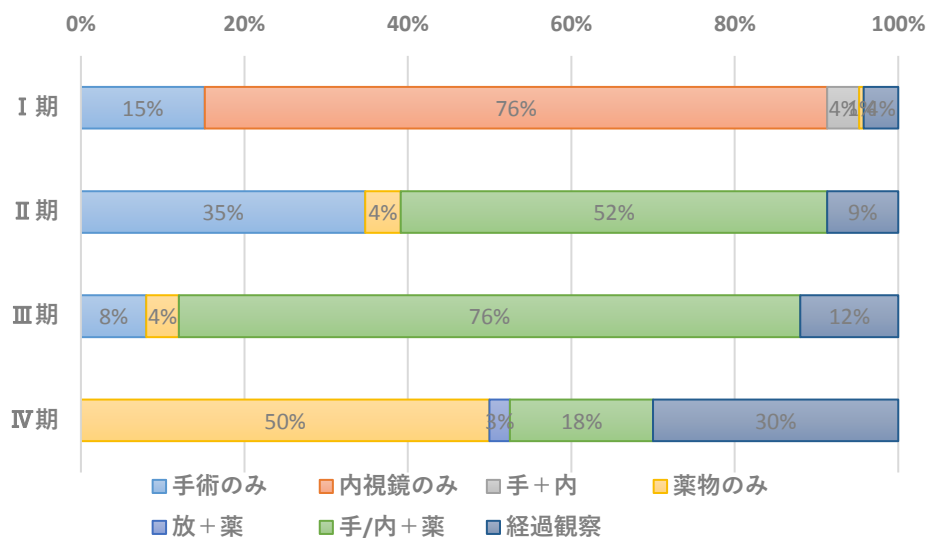
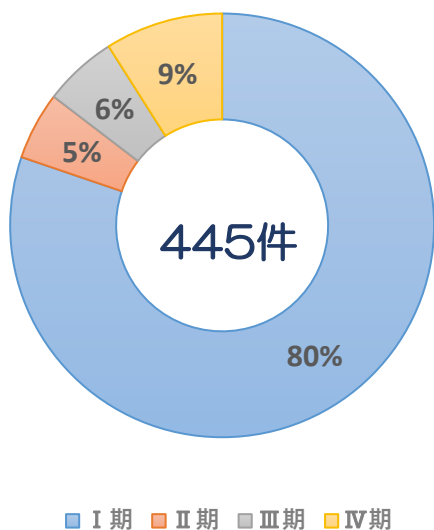
【ステージ（病期）について】

ステージはUICC TNM分類第8版に基づいています（肝・肝内胆管は取扱規約第6版）。

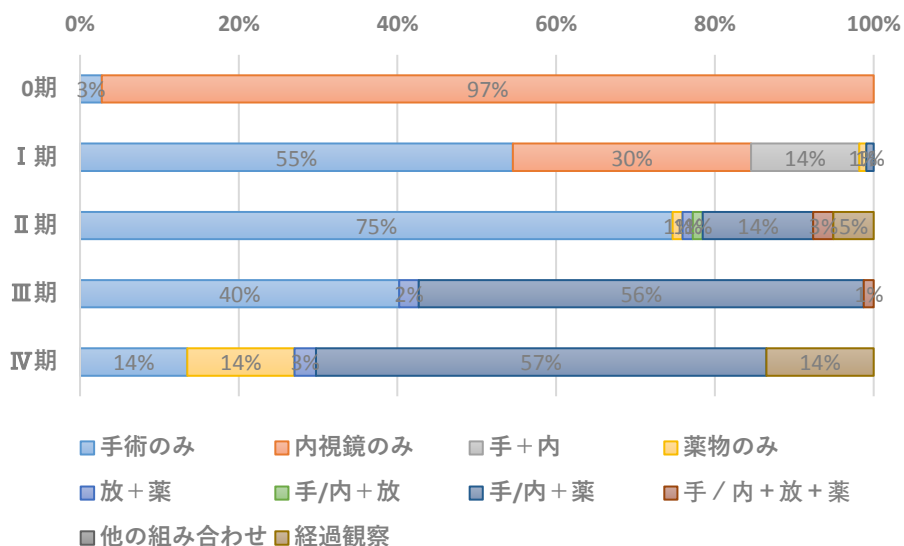
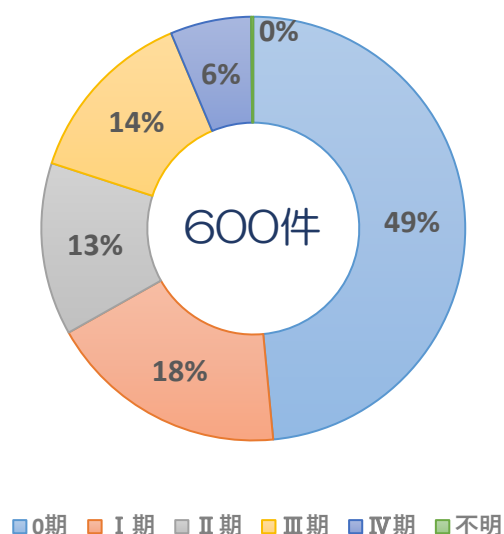
【治療法について】

- ①手術(手)・・・開腹、開胸など直視下での手術
または腹腔鏡、胸腔鏡など鏡視下での手術
- ②内視鏡(内)・・・胃カメラ、大腸カメラなどを用いて腫瘍を切除する治療
- ③放射線(放)・・・X線やγ線等の電磁放射線
I-131 内用療法など放射性物質による治療
- ④薬物(薬)・・・化学療法、ホルモン療法による治療、前立腺癌における除睾術
- ⑤その他(他)・・・免疫療法、レーザーやラジオ波による焼灼療法、血管塞栓術
- ⑥治療なし(なし)・・・緩和ケアや経過観察

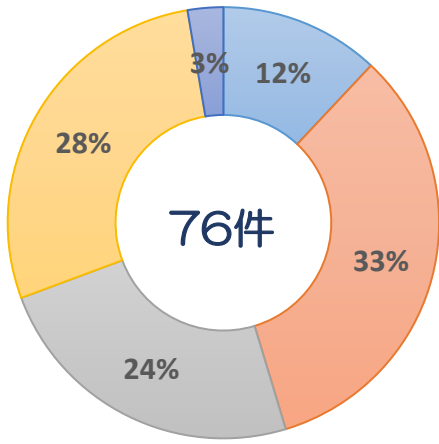
1) 胃がん



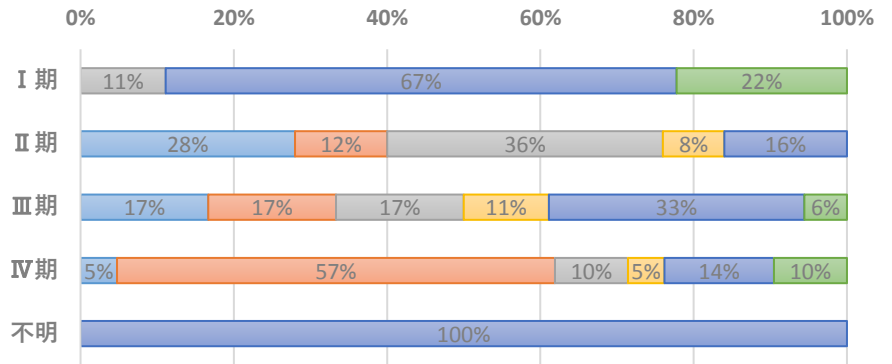
2) 大腸がん



3) 肝がん（肝内胆管がん含）

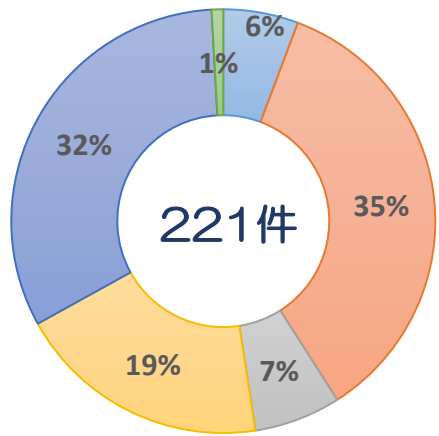


■ I期 ■ II期 ■ III期 ■ IV期 ■ 不明

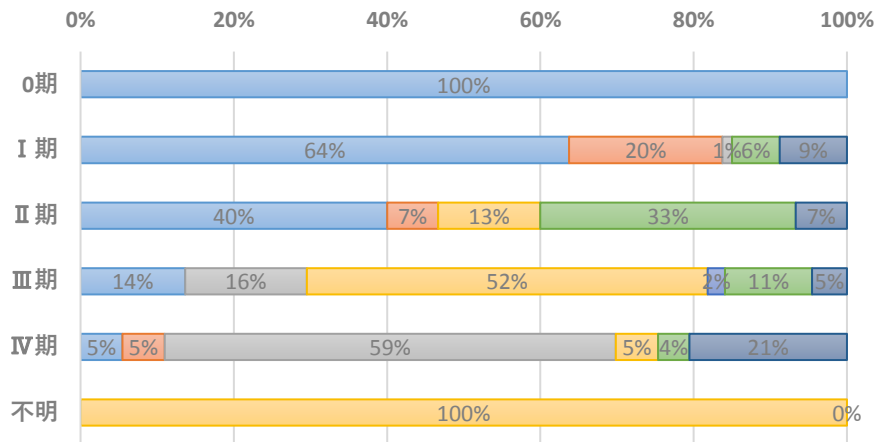


■ 手術のみ ■ 薬物のみ
 ■ 薬+その他 ■ 手/内+薬
 ■ その他 (RFA, PEIT, TAEなど) ■ 経過観察

4) 肺がん

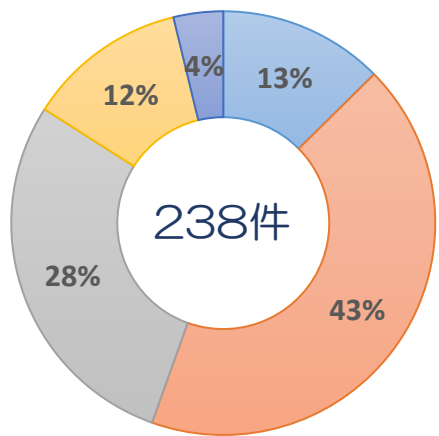


■ 0期 ■ I期 ■ II期 ■ III期 ■ IV期 ■ 不明

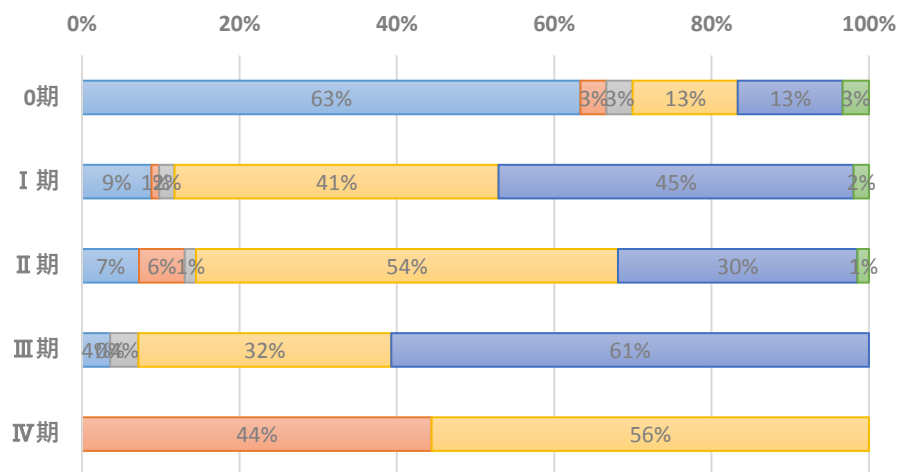


■ 手術のみ ■ 放射線のみ ■ 薬物のみ ■ 薬+その他
 ■ 手/内+放 ■ 手/内+薬 ■ 経過観察

5) 乳がん

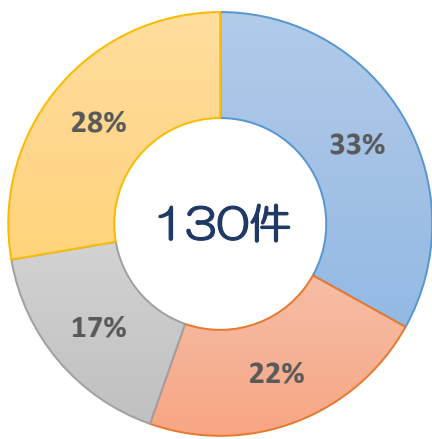


■ 0期 ■ I期 ■ II期 ■ III期 ■ IV期

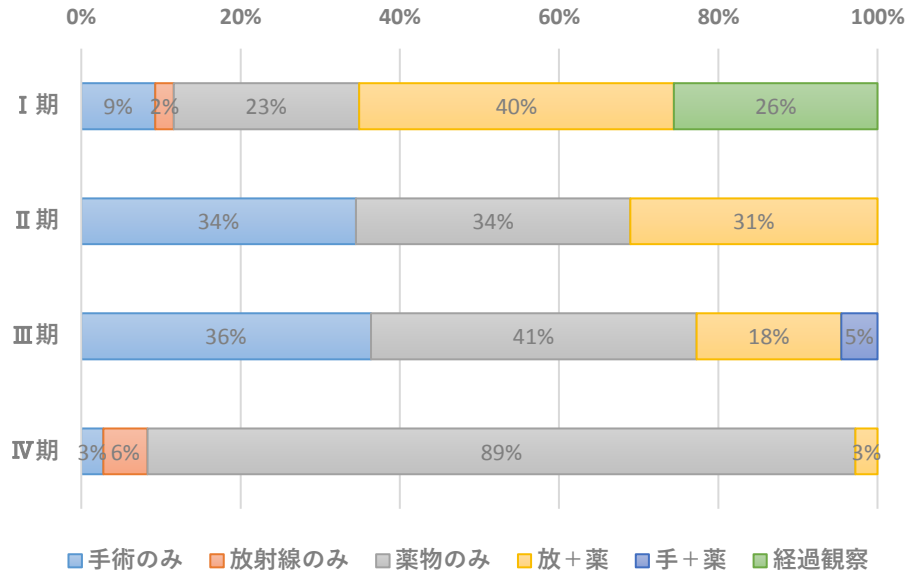


■ 手術のみ ■ 薬物のみ ■ 手+放 ■ 手+薬 ■ 手+放+薬 ■ 経過観察

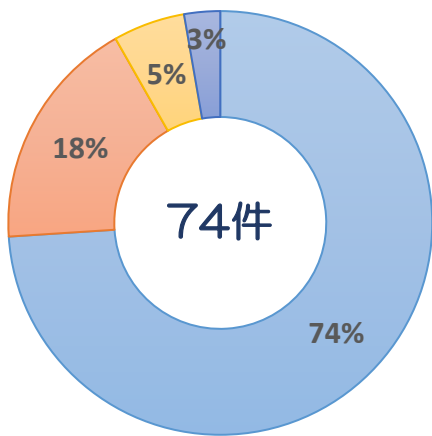
6) 前立腺がん



■ I期 ■ II期 ■ III期 ■ IV期



7) 子宮頸がん



■ 0期 ■ I期 ■ III期 ■ IV期

